



子ども読書の日

4月23日は子ども読書の日です。それに先駆けて、21日の発表朝会で、図書委員が読書活動を推進するために、全校に伝えたいことを発表しました。そして、各学年の読書目標についても発表してくれました。各学年の目標は次の通りです。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1・2年・・・100冊以上 | 3年・・・4000ページ以上 |
| 4年・・・5000ページ以上 | 5年・・・6000ページ以上 |
| 6年・・・7000ページ以上 | 各学年・・・各学年の必読書20冊読破 |

また、5校時には、図書館司書の香野先生が、3年生にお勧めの本を紹介してくださいました。理科で学習した「生き物のすがた」に興味をもった子どもたちのために、「この前見つけた生き物の名前は何かというんだろう」「その生き物が食べるものは何だろう」という疑問を解決するための方法（図鑑の調べ方）や、関連のある本を色々と紹介してくださいました。香野先生は3年生の強い味方です！子どもたちは、興味津々で話に聞き入っていました。「早く読みたい！」という声が聞かれたくらいです。



この本には、学校のまわりにいる生き物の事がたくさん書いてあります。例えばね・・・

ほら、あの毛虫がこんなきれいなチョウになるんよ。

これは、みんな、カエルの顔です。おもしろいじゃろ。オタマジャクシの顔も載っているよ。



わあ！
きれい！

3年生は、意欲的に読書を進め、読書貯金もどんどん増えています。ご家庭でも、親子で読書を楽しんでくださいね。親子読書では、親子で同じ時間に別々の本を読むもよし、親から子への読み聞かせをするもよし、また、子どもが親に読み聞かせをするもよし！・・・ぜひ、ご家庭でも本に親しむ時間を作ってみてくださいね。

23日には、南方小学校で3校合同の読書会（ボランティアさんによる読み聞かせ）が行われ、お話の世界を楽しませていただきました。



3校合同の社会見学

5月7日（木）、北方小学校、南方小学校、船木小学校の3年生が、合同の社会見学を行いました。

三原合同青果市場では、市場で働く方から市場の仕事についてお話を聞かせていただいたり、市場の中を案内していただいたりして学習しました。市場の中には、広島県内だけでなく、北は北海道、南は鹿児島など多くの県から運ばれてきた野菜や果物がたくさんありました。子どもたちは、箱に書かれた県名を調べては一生けんめいにメモをとっていました。外国から運ばれてきた果物もあることも知り、驚きの声をあげていました。

大きな冷蔵庫の中の見学や、キュウリやジャガイモの袋詰め体験などもさせていただきました。野菜や果物を新鮮に保つ、スーパーマーケットですぐに売れるように袋づめをするなどの工夫がされていることも知ることができました。



このスイカに値段を付けるのが市場の仕事なんですよ。



このびわは長崎から運ばれているんだね。



えーっと、このメロンはどこから来ているのかな。



このリンゴは、青森、ここから来ているんだよ。



わあ！この大きな冷蔵庫の中は、6℃なんだって！



キュウリを3本袋詰め。
キュウリを入れる向きがあるんだな。



ジャガイモを500g袋につめます。

糸崎にある道の駅「神明の里」から、三原のまちのようすをながめました。瀬戸内海に浮かぶ島々や、大きな店や工場、住宅などが立ち並ぶまちのようすを見て、自分たちが住むまちのようすとの違いを感じました。



広島空港そばにある「ピクニック広場」でお弁当を食べました。ひとりぼっちがないように、みんなで誘い合って北方小学校や南方小学校の友達ともいっしょにお弁当を食べました。お弁当を食べる輪になった時、〇〇くんが、「みんな、なつかしいなあ。何年ぶりかね。」と言いました。すると、周りにいた子がみんな笑顔になっていました。和やかな雰囲気をつくる言葉かけ・・・すてきですね。

「社会見学に行こうよ！」&「うらめしや～」というレクリエーションも楽しかったです。

「他の小学校の人とも友達になれてうれしかった。」という声も聞かれました。社会見学で学習したことを社会科学習に生かしていきます。

あゆの放流体験

5月11日（月）、船木小学校、北方小学校、南方小学校の3・4年生があゆの放流体験をさせていただきました。本郷沼田漁協の方々が、帝釈峡から運んで来られた約15000匹の元気のよいあゆの稚魚のうち、約9000匹を放流させていただきました。

漁協の方々は、沼田川はあゆのすむきれいな川であること、川をきれいに保つことが大切であること、稚魚がカワウに食べられてしまわないように、爆音機でカワウを追い払うことなどをお話してくださいました。「あゆが元気に育って、8月のあゆ祭り子どもたちにあゆのつかみどり体験をしてもらえたら…」と言われていました。楽しみです。



感想発表タイム！船木小の3年生も多くの子が進んで手を挙げました。すばらしい！代表して、△△くんが感想を上手に発表しました。発表できなかった子どもたちも、感想やお礼を口々に伝えて帰ることができました。



*** 児童の日記より ***

今日、あゆのほうりゅうをしました。あゆに「元気にそだってよ。」と心の中で言いました。また、3校であゆのほうりゅうを試してみたいと思いました。

今日、わたしは5時間目にあゆのほうりゅうをしました。あゆを川にながすときに、あゆが元気にとびはねておよいでいきました。早く大きくなって、夏にはつかみどりをしに行きたいです。

今日は、あゆのほうりゅうがありました。あゆをながす時に、「元気でね。」と言いながら、川にながしました。川であゆはすいすいおよいでいました。大きくなって帰って来てねと思いました。今日のはゆのほうりゅうは、とても楽しかったです。

※日記の続きに、「こんど、漁協の人に会ったら、またジュースやペンをもらったお礼を言おう。」と書いてありました。とても大事なことです。